

第1回 カジノ管理委員会契約監視委員会議事概要

1 日時 令和3年7月27日（火）10：40～11：20

2 場所 オンライン

3 出席者 工藤委員、大森委員、野口委員

4 議事概要

(1) 開会 ※冒頭、委員の互選により、工藤委員が委員長として選任された。

(2) 調達案件の審議

令和2年4月1日から令和3年3月31日までの間に締結した契約のうち、委員が抽出した調達案件3件について審議が行われた。審議の概要は別紙のとおり。

(3) 閉会

意見・質問	説明・回答
1 城山トラストタワーに係る令和2年度調達複写機（高速機）の賃貸借及び保守等業務	
<p>応札者の2者とも低価格での入札となっており、予定価格の意味がなくなっているが、これは公正な競争といえるのか。</p>	<p>予定価格は、履行可能な複数の業者から事前に徴取した見積書を参考に算定する標準的なやり方を採用している。応札価格は、業界の慣行もあり回答が難しいが、競争の公正性には配慮すべきと考えている。</p> <p>本件は賃貸借期間が3年間、保守期間が1年間の調達であるため、賃借料と保守料の価格を調整されることにより、賃貸借期間終了時には、結果的に高い調達となってしまう可能性があったため、1ヶ月当たりの賃貸借台数と複写枚数を予定数量とした予定価格を設定するなど、入札方法に工夫を行った。</p>
<p>複写機は他省庁でも調達されているが、入札状況は同様であるため、省庁横断的に情報共有しながら、公正な予定価格や入札となるよう今後の調達に活かしてもらいたい。</p>	
<p>賃貸借期間が3年間で、保守期間が1年間となっているため、賃借料を抑えて保守料で利益を出す構図となっていないか。</p> <p>入札は省庁ごとに調達することがよいのか、省庁横断的に調達した方がよいのか、将来的に検討すべきではないか。</p>	<p>現在の調達方法が最適とは言わないが、上述のように1ヶ月当たりの予定価格を設定し、行政庁にとって不利とはならない条件で調達できていると考えている。</p> <p>合同庁舎に入居する複数官署では共同調達の例があるが、当事務局は単独で入居しており、同様にできるかどうかは考慮する必要がある。</p>
2 カジノ事業に関する海外法令・論文等の和訳業務	
<p>1者応札であり、クオリティに問題はないかという観点から抽出。</p> <p>本件は公告期間が十分確保され、納期は適正であったのか。</p>	<p>公告から開札までは17日間、営業日で9日間確保されていたが、審査（トライアル）の資料提出期限までが7日間、営業日で3日間となっていたため、業者にとってはタイトであった。</p>
<p>2者が審査（トライアル）に合格しており、そのあたりが考慮されていれば、複数応札となつたのではないか</p>	<p>辞退した1者に理由の聴き取りを行ったところ、納期と抱えている自社の業務全体から判断し、見合わせたとのことであった。</p>
3 入退場管理システムの構築及び運用・保守業務	
<p>低入札となった理由はなにか。</p>	<p>落札者である株式会社野村総合研究所の提案は、予定価格算定時に履行可能な複数の業者が</p>

	<p>ら徴取した見積書で提案された、一般的なシステム構成によるものではなく、見積もり後に最新技術を用いたシステム構成となるよう見直しされたものであり、技術革新の結果として価格が下げられたものである。提案内容は政府CIO補佐官による確認を行っており、問題ないものと判断している。</p>
<p>大型のシステム開発であり、ベンダーロックインとならないか。</p>	<p>システムに蓄積されたデータは動かせるように設計されており、他のシステムへ移設することが可能であるため、ベンダーロックインになることはないと考えている。</p>
<p>今回調達したシステムを5年間使用し、その後も継続して使用した場合は、ベンダーロックインになるのではないか。</p>	<p>ベンダーロックインになるとは考えてはいないが、5年後に再度システムを構築するとなると多額の費用を要することになるため、継続して使用する可能性はある。</p>
<p>5年後には技術の進歩もあると思われるので、このまま使用し続けるだけでなく、新たなことも検討してもらいたい。</p>	<p>了解した。</p>